

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 岐阜県立岐南工業高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和4年7月14日（木）10時 ～ 12時
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室
- 4 参加者 学校運営協議会委員

会長	山口 禎一郎	山口鋼業株式会社（ご欠席）
副会長	後藤 潤一	塩谷建設株式会社（ご欠席）
委員	磯野 靖彦	(株)濃尾エンジニアリング
	粕谷 幸司	元PTA会長（令和2年度）
	川口 久義	元PTA会長（令和3年度）（ご欠席）
	柴山 恭子	元PTA副会長（令和2年度）
	正村 美里	岐阜県美術館
	透 千保	アナウンサー
学校側	各務 友浩	学校長
	柴田 祐一	教頭
	新田 雄一	事務長
	福永 繁隆	教務主任
	三輪 照導	生徒指導主事
	東松 宏明	進路指導主事
	野田 政宏	工業部長

5 会議の概要（協議事項）

(1) 授業参観（教室、実習棟）について

(ア) 教室の授業参観

- ・コロナ感染対策の説明
(全教室にエアコン完備、換気のために窓と欄間を開けている)
- ・タブレット端末を使用した授業展開、オンライン学習支援の説明

(イ) 実習棟での建築工学科（製図）、電気工学科、自動車工学科、機械工学科（溶接）、土木工学科（圧縮強度）の実習の参観

意見1：女子生徒が少ないが、何名在籍しているのか。

⇒1年生17名、2年生14名、3年生16名、全校で47名、3学年とも建築工学科に多く在籍している。

意見2：タブレットは一人一台持っているのか。

⇒コロナ禍でICT環境が急速に進み、タブレットの一人一台配付、ホワイトボード、プロジェクター、実物投影機、スピーカーなどが整備された。

意見3：久しぶりに実習の様子を見ることができた。

意見4：溶接の実習を見ると工業高校らしく、ものづくりへの情熱を強く感じた。

(2) 令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画について

学校長から教育指導の重点及び学校経営計画

教務主任から「教務部の方針と重点」

生徒指導主事から「生徒指導部の方針と重点」

進路指導主事から「進路指導部の方針と重点」

工業部長から「工業部の方針と重点」

意見1：生徒指導、進路指導でジェンダーについてはどうとらえているか。

⇒制服や頭髪については、現在、男子・女子と明記しているが、A・Bタイプとするなど検討している。

(3) 本校への提言と意見交換

交通安全：危険箇所（岐南工業高等学校北、JR 東海道線高架下交差点）

意見1：学童見守り（シルバー）の方をお願いしてはどうか。

意見2：危険ゾーンとして、カラー舗装や、波状舗装の申請をしてはどうか。

意見3：自治会の協力を依頼してはどうか。

学科改変、定員、くくり募集

本校が地域において果たす役割 期待する役割

今後の公立高校の在り方

意見1：入試倍率が向上しないのは、小中学校で技術家庭科での体験をする機会が少なくなっていることも考えられる。その対策としても、生徒たちにTwitterやTikTokなどで工業の面白さを発信することも必要である。

意見2：中学生の段階で将来を決める（学科選択）ことは難しく、くくり募集をすることでなんとなくの進路の方向性を決め、1年後に希望の進路を選択させるのも一つである。

意見3：地域に密着した人材を確保するためにも工業高校は必要である。少子化が進むが、地元産業との連携ができるのが工業高校の存在である。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

委員の意見を参考に今後の学校運営に役立てていく。

第2回学校運営協議会では、学校行事を通して、生徒の活動の様子を見ていただき、本校への理解をより深めていただくとともに、忌憚のない意見と検討を踏まえてよりよい学校運営を目指して行く事を予定している。